



## 普段とは異なる環境での教育活動

教頭 柴山 秀範



堀川小学校は転入生を2名迎えて553名となり2学期をスタートしました。子ども、教職員が揃って2学期を迎えたことは何よりうれしいことです。家庭や地域での見守り、町内行事やラジオ体操、近隣ファミリー活動、いざみ子ども会等の地域や児童クラブの活動も子どもたちの安全・安心で有意義なくらしづくりと成長の支えとなっていました。本当にありがとうございました。

7月31日（木）～8月1日（金）に、第6学年集団宿泊学習である立山登山に参加してきました。二日間とも快晴で、青空のもと、とても美しい自然の景色を見ながら登頂してきました。美しい景色を見ながら、帰りのバスが動き出した時に、「もう山頂からの景色を見てしまったからなあ．．．」と聞こえてきました。きっと、最初にバスの中から同じ景色を見たときは、とても美しく感動したのではないでしょうか。しかし登頂し、その時に味わった達成感とともに見た景色の美しさが、最初にバスの中から見た景色に勝る感動を与えてくれたからこそそのつぶやきだったのではないでしょうか。学校の中だけでは感じることができない、自然の美しさや厳しさを体感することができたからの言葉だと思います。

本校では、学校外での教育活動も大切にしています。特に今月は、9月18日（木）に全校校外学習があります。それぞれの学年の発達の段階や学習に応じて、子ども自身が目的地や活動内容、時間配分を選択し、決定できる場を取り入れています。下記は、今年度の行き先と移動手段です。

各学年の行き先と移動手段		
1年生	太閤山ランド	貸し切りバス、徒歩
2年生	ファミリーパーク	貸し切りバス、徒歩
3年生	大沢野方面	路線バス、徒歩、送迎バス
4年生	氷見市内	あいの風鉄道、JR氷見線、徒歩
5年生	高岡市内	市電、徒歩、あいの風鉄道
6年生	金沢市内	市電、JR新幹線、周遊バス、徒歩



本校の校外学習は、教師が子どもたちを目的地に連れて行き、活動を指示するという形ではありません。例えば6年生は、ファミリーで金沢に向かい、自分たちで事前に相談して決めたルートで施設や城址等を見学し、金沢の文化や歴史を学んでいます。さらに、6年間のくらしや校外学習での学びを生かして、公共交通や施設の利用のマナーと移動時の安全について、自分たちで判断し、行動を決定しています。1年生では、太閤山ランド内でファミリー活動を二回行います。ファミリー活動で何をして遊ぶのか、準備するものは何か、こどもみらい館ではどんなことをするのかなどをファミリーで話し合って決めます。教師は、命に関わったり、誰かに迷惑をかけそうになったりすること以外は、子どもたちが決めたことを見守り、失敗しそうな時でも取り返しがつきそうなことであれば、あえて声掛けをしない時もあります。これは、自分が、自分たちが決めた行動に責任をもつ構えを強めることとともに、自分たちの行動から学んでほしいと考えているからです。そして、その積み重ねが6年生での集団宿泊学習や校外学習で發揮される信じているからです。

子どもの安全等に配慮しながら、子どもを信じて任せる部分を明確にして、子どもがつくる校外学習となるように進めていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

## 9月の行事予定

- 1日(月) 集金振替日  
避難訓練（シェイクアウト訓練）  
4日(木) 堀川チャレンジ活動  
5日(金) アスリート派遣事業  
6日(土) 資源回収②  
11日(木) 委員会活動  
12日(金) 安全点検  
15日(月) 敬老の日  
18日(木) 全校校外学習  
19日(金) 教育実習閉講式  
堀川校下敬老の会  
22日(月) 教育長等訪問  
23日(火) 秋分の日  
24日(火) 創校記念日  
25日(木) 堀川チャレンジ活動  
26日(金) 第3区域連合音楽会  
29日(月) 研修会（短縮4限）

※状況によっては、変更する場合もあります。



## 10月の行事予定

- 1日(水) 集金振替日 運動会全体練習①  
2日(木) 委員会活動  
3日(金) 運動会全体練習②  
6日(月) 運動会全体練習③ 運動会係委員会活動  
8日(水) 運動会予行  
11日(土) 運動会  
13日(月) ♪スポーツの日  
14日(火) 振替休業日  
15日(水) 避難訓練 安全点検  
16日(木) 委員会活動 小中連携挨拶運動  
17日(金) 小中連携挨拶運動  
富山市ガラス美術館及び富山市図書館  
本館の小学校招待プログラム（4年生）  
22日(水) 就学時健康診断  
23日(木) 堀川チャレンジ活動  
情報モラル講座（5年1組）  
（5年2組）  
24日(木) 情報モラル講座（5年3組）  
28日(火) こころの劇場（6年生）  
30日(木) 委員会活動  
31日(金) 堀小ふれあいフェスティバル前日準備



## 立山登山を行う意味

6年4組 仲井 志保

7月31日(木)、8月1日(金)の2日間、6年生は集団宿泊学習を行いました。7月上旬、立山登山に不安を抱いた子どもから「何のために立山登山をするのか分からぬ。なぜ、立山登山に行くの？」と聞かれました。私は、しおりに書いてあった目当てを思い出しながら、仲間との協力や立山の自然の雄大さを伝え「行けば分かるよ」と言うことしかできませんでした。このことは、立山登山が子ども一人ひとりにとってどのような意味があるのか、改めて考えるきっかけとなったのです。

立山登山の日がやってきました。一学期のくらしの中で、困難や不安を感じると「無理」「できない」と、どこかそこに立ち向かえないような子どもの様子を何度か目にしていたため、一ノ越で登山を諦め、待機する子どももいるかもしれないと考えていました。私は、室堂から

雄山を見上げながら、Aさんの姿を思い出しました。Aさんも一学期、「無理」「できない」と口にすることがよくありました。しかし、それでも陸上の大会に出場したり運動会の団役員に立候補したりと、様々な場面で力を伸ばそうと挑戦していくのです。Aさんの姿から、6年生の子どもたちは心身ともに大きな成長の過渡期にあり、「自分にはできるのだろうか」「失敗したらどうしよう」「仲間からどう見られるだろう」といった不安や難しさがよく分かるからこそ「無理」「できない」の言葉が先立つけれど、その奥には、「挑戦をして、自分の可能性を広げたい」という成長への確かな思いが必ずあることに気付きました。「今の子どもたちならきっと登頂できる」そう思い、歩み始めました。一ノ越から雄山までは、ごつごつした岩場を一步一歩確かめながら登りました。隊列の先頭にいた私の近くを歩いていた子どもが「足元危ないよ」「みんな頑張ろう」などの声をかけました。その声を聞き、後から続く子どもたちが「足元危ないって」「みんな頑張るよ」などと声をつなげていきます。私は、そのような姿に目を潤ませながら「ああ、これが…」と思いました。全員で立山登山をすることは、同じ目標を抱き、仲間と共に声をかけ合い支え合いながら困難な道を登り抜く、そして自分の力を、自分の可能性を信じることができます、そんな経験をすることこそが、立山登山を行う意味なのだと実感しました。ふと後ろに目をやると、仲間の声かけに「うん、頑張る」と真っ赤な顔で答え、必死に岩場を登るAさんがいました。

立山登山を行う意味は様々であり、子ども一人ひとりにあるのだと思います。二学期になり、子どもたちは運動会に向けてスローガンや応援歌、マスコットづくりに取り組んでいます。その子にとっての行事の意味を考えながら、一人ひとりの子どもが、一つ一つやり切る充実感を味わえるように今後も全力で支えていきます。



【仲間を気遣い、一步一歩登る】